

# 町民のみなさんと歩む 木古内町 議会だより

vol.166

令和6年5月1日発行

- 発行／木古内町議会
  - 編集／議会だより編集特別委員会
- 〒049-0422北海道上磯郡木古内町字本町218  
TEL. 01392-2-3131 FAX. 2-4418

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

木古内町議会

検索

4月8日 木古内小学校入学式  
～ わくわく♪ ドキドキ! 1年生～



## contents

定例会	P2
6議員が町政を問う	P4
特集 ここが知りたい「みんなの予算」	P11
予算の概要にふれてみる	P12
令和6年度予算等審査特別委員会	P14
常任委員会報告	P17
議会懇談会開催・令和6年度議会モニター始動	P18
お知らせ ニュース&インフォメーション	P19
サークル紹介&編集後記	P20

# 第 1 回 木古内町議会 定例会

## 可決された 主な議決事項

- 議案第11号  
令和5年度木古内町一般会計補正予算(第8号)
- 議案第12号  
令和5年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 議案第13号  
令和5年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)
- 議案第14号  
令和5年度木古内町簡易水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第15号  
令和5年度木古内町高齢者介護サービス事業会計補正予算(第2号)
- 議案第16号  
令和5年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 議案第17号  
令和5年度木古内町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 議案第20号  
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
- 議案第22号  
昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例及び昭和天皇の大喪の礼の行われる日を休日とする法律の施行に伴う関係条例の適用に関する条例の廃止に関する条例制定について
- ※令和6年度予算関連議案は、令和6年度予算等審査特別委員会へ付託されました。(詳細14ページ以降)

# 町財政の安定化に期待

## ふるさと納税贈答品の予算を追加

一般質問  
6議員より

## 補正予算

れた議案21件、発議案2件を原案のとおり可決し閉会しました。

○長期債元金繰上償還等 5千226万円

※その他は各事業会計への繰出金と減額補正となっております。

## 質疑

グループホーム維持管理負担金について

東出議員

グループホーム維持管理負担金が、全額減額されていますが、理由をお聞かせください。また、今後どのように施設を活用しようとしているのか、考えを伺います。

羽沢副町長

グループホームは昨年3月末をもって撤退しましたが、運営をやめる旨の申し出があり、協議を進めた結果、時期的に予算

令和6年度町政執行方針を述べる鈴木町長(左)



令和6年度教育行政執行方針を述べる藤澤教育長(右)

令和6年第1回定例会(3月4日~11日)は、はじめに鈴木町長から令和6年度町政執行方針、藤澤教育長から令和6年度教育行政執行方針の説明があり、令和5年度一般会計のほか7会計の補正予算、条例の制定・廃止等の議案7件と諮問3件を可決・答申しました。

また、一般質問では、廣瀬議員、新井田議員、安齋議員、東出議員、竹田議員、平野議員の6名が活発な議論を行いました。(詳細5~10ページ) 予算等審査特別委員

会は、3月5日から11日(実質4日間)まで開催し、精力的な審議が行われました。新年度予算は町長選挙を控えた骨格予算で、継続事業が主となりましたが、新規事業では各漁港の計画的な補修・改善を図るための水産物供給基盤機能保全事業、大規模事業では元瓜谷橋架替事業、佐女川跨線人道橋撤去事業(道南いさりび鉄道に委託して施工)などの事業が盛り込まれています。最終日には再度本会議を開催し、予算等審査特別委員会に付託さ

## 補正予算の主な事業

- ふるさと納税贈答品等 400万円
- 減債基金積立金 1千60万円
- まちづくり応援基金積立金 6千315万円
- 戸籍附票システム改修業務委託料(住基法改正) 189万円
- 施設園芸生産基盤緊急支援事業補助金 150万円
- 各部活動・大会参加報償費(第33回北海道中学生バレーボール優秀選手選抜大会) 15万円

編成時期に間に合わなかったため、当初予算に計上せざるを得なかったものです。結果的に収入がゼロになりましたのでこのたびの補正となりました。また、公募により施設の利用を図りたいと考えておりますが、最終的な方向性はまだ整っていませんので、方針が決定次第、報告させていただきます。

### 地域おこし協力隊について

**竹田議員** 地域おこし協力隊は町長肝いりの事業だと理解しています。今回1名分を減額ということですが、状況を説明願います。

### 中山産業経済課長

2名分の予算を計上しましたが、現時点で1名の採用にしか至っていないことから減額するものです。札幌での漁業フェアや移住定住セミナーでの募集で、漁業に興味を持たれている方もおられますので、新年度においても募集を継続することとして

います。

### いきいきふるさと推進事業について

### 竹田議員

いきいきふるさと推進事業助成金を減額し、一般財源に振替えています。財政的な考えを伺います。

### 幅崎総務課長

予算要求の段階では助成金の採択は確定しておりませんでしたが、優先順位の関係で不採択となり、このたび財源調整をしたものですのでご理解ください。

## 発議案

### 条例の制定

木古内町議会に関する条例制定を可決しました。

○木古内町議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について

※地方自治法の一部が改正され、町議会議員が各会計年度において、町から請け負える請負の対価の総額が300万円となったことにより、請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図ることを目的に条例を制定しました。

### 議会閉会中の所管事務調査項目の承認

議会閉会中の総務・経済常任委員会所管事務調査項目を承認しました。

### 【病院事業】

・木古内町国民健康保険病院経営強化プランについて

・その他総務・経済常任委員会所管の緊急を要する課題について

## 諮問

### 人権擁護委員に佐藤氏と仁禮氏並びに澁谷氏

人権擁護委員の候補者として「佐藤裕史」氏、「仁禮聡子」氏、「澁谷勝」氏が推薦され、議会の意見を求められ

ましたので、満場一致で適任であると判断して答申しています。



佐藤 裕史 氏



仁禮 聡子 氏



澁谷 勝 氏

## 第1回臨時議会 2月6日開催

### 可決された主な議決事項

- 議案第1号 令和5年度木古内町一般会計補正予算（第7号）
- 議案第2号 手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 承認第1号 専決処分承認の承認を求めることについて

の参加のための経費の追加です。

### ■一般会計（歳出）

- ・能登半島地震災害見舞金 100万円
- ・物価高騰対応重点支援給付金 1千810万円

- ・各部活動・大会参加報償費（木古内中学校吹奏楽部第55回北海道アンサンブルコンテスト） 28万円

※一般会計（歳出）専決処分

- ・各部活動・大会参加報償費（第56回北海道中学校スキー大会） 22万円

令和6年第1回木古内町議会臨時議会（2月6日開催）は、令和5年度木古内町一般会計補正予算と手数料条例の一部を改正する条例制定についての議案2件、専決処分の承認を求める承認1件を可決承認しました。

可決された一般会計補正予算は、能登半島地震災害見舞金の追加と、物価高騰により厳しい状況にある生活者を支援するための木古内エール生活支援臨時給付金事業、木古内中学校吹奏楽部が出席する第55回北海道アンサンブルコンテストへの参加のための経費の追加です。

専決処分の承認は、木古内中学校スキー部が出席する第56回北海道中学校スキー大会へ



一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



廣瀬 雅一 議員

1 小・中学校一貫における義務教育学校について

新井田 昭男 議員

1 冬場の除雪安全対策について

安齋 彰 議員

1 津波対策関連について

東出 洋一 議員

1 寒中みそぎ神事の北海道無形民俗文化財指定について

竹田 努 議員

1 「未来にチャレンジする委員会」（仮称）について

2 交通安全街頭啓発用ウェアについて

平野 武志 議員

1 町民や患者からの信頼を高める病院事業の取り組みについて



廣瀬 雅一 議員  
Hirose Masakazu

**問** 義務教育学校の設置の考えは

**答** 選択肢の一つであり調査研究を行う — 町長

**小・中学校一貫における義務教育学校について**

**平** 成27年度に学校教育法の改正があり、

平成28年度より義務教育学校が制度化され、一貫校、義務教育学校ともに、増加の傾向がみられます。当町の令和6年度教育行政執行方針を拝読したところ、GIGAスクール構想でのICT活用教育の育成や、加速するAIやデジタル社会、また、政府が目指す未来社会ソサエティ5.0に向け、現在の教育は目まぐるしく変化しております。このように新しい時代に対応した望ましい教育環境として、木古内町における、小中一貫における義務教育学校についてのお考えをお伺いいたします。

**鈴木町長**

未来を担う木古内町の子どもたちの将来を見据えた中で、

小中一貫校における義務教育学校の設置に関しては、選択肢の一つであります。あらゆる角度から木古内町の学校設置のあり方や、少子・人口減少社会に対応した木古内町の児童生徒にとって望ましい学校環境について、調査・研究してまいります。

**藤澤教育長**

今後の児童生徒の実態や地域・保護者のニーズを踏まえることが大変重要であります。このため関係者が参画し、理解と合意を図っていくことが極めて重要でありますので、教育委員会として、未来を担う子どもたちのより良い学習環境を構築することは、最大の責務であると考え、木古内町の児童生徒にとって望ましい学習環境を調査・研究してまいります。

考えております。

**再質問**

義務教育学校を各学校が取り組む中の狙いは、小規模校・少人数を強みとして継承し、子どもに応じた指導の充実を図り、義務教育を9年間と捉え、自立・協働・創造と郷土愛を育むことを目指し、地域と一貫したつながりを重視した学びに取り組み、豊かな育ちと確かな学力を保障することです。まさに今回、令和6年度教育行政執行方針に合致してあるものだと私も感じております。また、ICT活用教育、AIやデジタル社会による情報の集積力や伝達力、それを活用する未来社会に向け、新しい時代に対応した望ましい教育環境の整備も重要視されていくものだと思います。

でに取り組んでいる学校では、3年から5年の検討がされており、ぜひとも当町でも検討委員会なるものを立ち上げ、深い議論のもと協議を行っていただきたいと思っております。

**鈴木町長**

私がもし次の任期が与えられたとするならば、次の任期中に検討委員会で学校のあり方、その方向性を決定して、皆さんとともに木古内の子どもたちのために、大きく前進するのではないかなと思っておりますし、そのように私自身確信をしております。いろいろ課題はありますが、全ては木古内の児童生徒のことを一番に考えて、丁寧に進めてまいります。

しかし、実現するには地域の人や父兄の皆さんのご理解とご協力が不可欠となります。す

新井田 昭男 議員  
Niida Akio



## 問 反射付きベストの無償配布は

## 答 反射ベストを貸し出す体制に努めてまいりたい — 町長

### 冬場の除雪安全対策について

**我**が町の冬場においては、豪雪地帯であることから、多額の費用をかけ除排雪による住民サービス向上に努めているところで、

しかしながら、その一方では、一部の国道沿いにおいて、生活道路の確保のため歩道を乗り越え、路側帯にまで除排雪をしている地区や、深夜や早朝に悪天候の中でも国道を横断しながら除排雪をしている地区もあり、車の運転中にヒヤリハットを経験されたかたも多いのではないかと思っております。このような状況や町民の声も含め、悪天候での除排雪作業等における危機回避や、自然災害時の避難にも大いに役立ち、我が町の町民の安心・安全確保の手段として、行政主導で高齢者を対

象に「反射付きベスト」の無償配布をご提案させていただきますので、町長の見解をお伺いします。

**鈴木町長** 冬期間の除排雪のため、道路横断や路側帯付近で作業をされているかたがいることは、認識しております。そのため、広報きこないにおいて、暗い時間帯に除雪作業を行う場合は、反射材の着用及び通行車両へは十分注意するよう呼びかけを行っているところです。また、交通事故防止のため、車両の運転手につきましては、安全運転に努めていただくことはもちろんですが、除雪作業を行っているかたも運転手に存在を知らせることが重要であると考えております。今回、議員より除排雪作業時の危機回避や自然災害時の避難などを考慮し、高齢

者を対象に反射付きベストの無償配布についてご提案をいただきましたが、希望されるかたには早急に対応しなければなりませんので、町が所有する防災用の反射ベストを貸し出すことを検討し、安心安全の確保に努めてまいりたいと考えております。

### 再質問

町の高齢化率が51%、後期高齢者の割合が29%です。では高齢者のうち後期高齢者の割合ですが、実に58%というような状況なんです。これを考えてみますと、やはり冬場の除排雪に関しては、夫婦でやられている方が、結構見られるんです。人口構成、少子高齢化を考えた中で、お年寄りのかたに反射付きベストの無償提供。これをまず第一にというふうに提案させていただきます。

**鈴木町長** 町民の皆さん、特に高齢者のかた、冬期間のそのような事故から命を絶対に守りたいんだというような思いは、しっかりと私も受け止めました。まずは、早急に対応させていただく手段として、住民のみなさまから要望があれば、すぐに貸し出せる体制をつくります。これが最も効率的で、すぐ対応できること。その中で、使い勝手ですとか様々な声があるかもしれませんが、もしかしたら子ども、お子さんもほしいという声があるかもしれない。そういった声を集めてからしっかりと町として、さらに安心安全確保のために前進をさせていきたいというふうに思っております。



安齋 彰 議員  
Anzai Akira

**問** 津波避難施設を設置する考えは

**答** 町にとって必要な環境整備を検討する — 町長

**津波対策関連  
について**

**政** 府は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進基本計画を変更し、南海トラフ特措法と同程度に対策を強化する「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」の制定を行いました。これにより、北海道については防災対策推進地域として62市町村を指定し、自治体による推進計画の作成や変更、民間事業者等による地震防災対策計画の作成や変更を行うとし、さらに39市町村には津波避難対策特別強化地域をも指定し、今後、特別強化地域では津波避難対策緊急事業計画を作成することができるとしており、この両地域に木古内町が指定されています。

このことから、当町においても津波避難についての対策や計画の見直しなどの方向性が一变したと考えますが、次のことについて町長の見解を伺います。

①津波避難施設の設置について。  
②津波避難対策の計画の作成や変更について。  
③津波発生時に鉄道敷地内に立ち入り避難することについて。

**鈴木町長**

①特別措置法の改正に伴い、新たな避難施設を設置する場合の国庫補助率は、3分の2まで引き上げられました。避難タワーや避難路など当町にとってどのような避難設備が有効であるか、専門家の助言や地域の声を聴いて、町にとって必要な環境整備を検討してまいります。また、大津波が発生した際には、高いところへ避難する行動をとって

いただくよう引き続き、住民の皆様へ周知をしております。

②現在の津波避難計画は、平成24年に北海道の津波避難計画策定指針が示されたことから、同年当町でも策定をしております。当町の計画もこの改定内容に沿ったものに変更する作業を進めているところです。

③新聞等で報道されておりますとおり、津波避難時に限り踏切のない場所の線路の横断が条件付きで認められることとなりました。ただし、線路横断が認められる条件として、線路を横断しなければ津波到達時間までに浸水域外、または指定緊急避難場所等の安全な場所に避難できないことが条件となっております。当町では、津波到達時間までに40分程度あることから、踏切を使っての避難が可能と

考えられますが、実際に地域の皆さんの声を確認させていただいて、線路横断の必要性が感じられる箇所があれば、現地を確認の上、今後の対応を協議してまいります。

**再質問**

1人の不幸も見逃さないという行政を目指している木古内町には、津波避難ビル・避難タワーの設置が必要だと考えますが、

**鈴木町長**

避難施設ありきで考えられるのか、施設を建てるのが目的ではありません。避難をして命を守ることが目的ですので、避難タワーなのか避難路なのか階段なのか、地域のかたの声を重視して、町にとってどういった避難施設が必要なのか検討し、進めていきたいと思っております。

定例会

一般質問

臨時会・常任委員会

特

集

予算審査特別委員会

議会モニター募集

お知らせ

東出 洋一 議員  
Higashide Youichi



## 問 北海道無形民俗文化財の指定を受けた町の役割は

### 答 「寒中みそぎ神事」を後世に伝承していく — 町長

**寒中みそぎ神事の北海道無形民俗文化財指定について**

みそぎ神事の調査研究を実施した、北海道文化財審議会の答申を受けて、北海道教育委員会から令和5年11月28日に「北海道無形民俗文化財」の指定を受けました。当町にとつてはこの上ない喜びと名誉なことだと思っております。令和12年には200回目の節目となることから、次の3点についてお伺いします。

①教育委員会として、みそぎ神事にどのように取り組んでいくのか  
②祭典委員会及び観光協会、産業経済課商工観光創生室がこのイベントにどう関わるのか  
③みそぎ伝承館、みそぎ歴史館といった仮称ではございますが、行者者が休憩する施設を考えるべきと思います

**藤澤教育長**

①ですが、伝統文化である寒中みそぎ神事が様々な機関と連携や協議を進め、北海道無形民俗文化財に指定されました。町の文化財は、木古内町の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産であります。そのため、教育委員会としましては、町民の貴重な財産である文化財を保護し、将来に引き継いでいくことは、今日を生きる我々の責務であると考えております。具体的な取り組みとしましては、現在も実施している小中学校での総合学習を活用した地域探究学習の実施や無名塾やリロナイふれあい学園での寒中みそぎについての学習を継続して実施してまいります。

**鈴木町長** ②について、これまでも、町の一大

イベントとして、寒中みそぎフェスティバルを観光協会や町、関係機関で組織する実行委員会で開催しており、連携を図っております。このたびの指定を受けて、機運を高める取り組みの一つといたしまして、記念雪像の製作や懸垂幕の設置、記念御朱印の作成などを展開してまいりました。今後とも「神事」と「フェスティバル」が一体となつて、後世への伝承や地域の活性化を図るために、関係団体が連携し取り組んでまいります。次の③ですが、このたびの北海道無形民俗文化財の指定により、町の役割としましては、より一層寒中みそぎ神事を後世に伝承していくことが必要だと再認識をしたところでございます。仮称ではございますが、みそぎ伝承館、またはみそぎ歴史館につきましても、私が町

長に就任させていただいた当初から、私個人の想いとしてあるところですが、財源の問題や関係団体との調整、町民の皆様のご理解などが必要だと思っております。とても大切だと認識をしております。現在、寒中みそぎ神事を情報発信している道の駅みそぎの郷きこないのほかに、木古内町郷土資料館におきましても、みそぎを紹介するコーナーを設置して、町として伝承する場の創出に努めてまいります。また、伝統芸能であります「みそぎ太鼓」や「みそぎ囃子」は、地域住民の皆様が伝承に向けて動いていると聞いておりますので、それらの取り組みの状況も踏まえながら、今後の方策を調査研究してまいりたいと考えているところでございます。





竹田 努 議員  
Takeda Tutomu

**問** 行政と町民が協働で設置する新たな組織の必要性は

**答** 今後の検討課題とする — 町長

**未来にチャレンジする委員会（仮称）について**

**鈴木** 木町政2期目の挑戦、第7次振興計画スタートの年、多くの課題を抱えての令和6年の幕開けではないのかと思っております。

でも強調しております。そこで行政と町民が協働で行う、「未来にチャレンジする委員会」これは仮称ですが、こうした組織が必要だと考えますが、町長の見解を伺います。

**鈴木町長** ①普通交付税の算定要因である人口は減少してはおりませんが、この間1人あたりの算定額が引き上げられていくこと、臨時的な算定項目が追加されていることで、大きな減額とはならなかったと受け止めてい

ます。交付税は、町の施策で増額できるものではないことから、樂觀視せず、しっかりとした行財政運営を続けてまいります。

**鈴木町長** 日頃から町民の皆様や事業所の皆様には、交通安全を推進するために、早朝啓発をはじめ、様々な活動に広くご協力をいただいております。心から感謝しております。今回は、目立つウェアの支給についての提案をいただきましたが、まずは希望するかたに町が所有する防災用の反射ベストの貸し出しを検討させていただきます、地域の皆さんと、交通安全の町を作っていく目標に向かい、全力で進む覚悟を持ってまいりますので、町内会や関係団体の皆さんからの声を聴き、必要なものはできる限り用意していくという気持ちがあることを受け止めていただければと思います。

人口減少が続く当町ですが、幸いにも、令和元年と令和6年の予算を見ても人口は減ってはいませんが、交付税は増えている。このような状況を町長はどのように捉えているのか。次に②の質問ですが、町長は、常日頃から町民と寄り添う姿勢、様々なご意見やご助言をいただけるながら、「いまと未来を守るために挑戦する」と執行方針の中

でも強調しております。そこで行政と町民が協働で行う、「未来にチャレンジする委員会」これは仮称ですが、こうした組織が必要だと考えますが、町長の見解を伺います。

**鈴木町長** ①普通交付税の算定要因である人口は減少してはおりませんが、この間1人あたりの算定額が引き上げられていくこと、臨時的な算定項目が追加されていることで、大きな減額とはならなかったと受け止めてい

**交通安全街頭啓発ウェアについて**  
交通安全の推進は町内会をはじめ、町内事業所等による街頭啓発など、町民総ぐるみ運動として展開をしております。天候の悪い時でも街頭啓発を行っていることに、頭の下がる思いです。地域住民による早朝時の街頭啓発が交通安全、交通事故死ゼロ等の一翼を担っているものと思っております。ぜひ、交通安全推進と関係者の

定例会  
一般質問  
臨時会・常任委員会  
特集  
予算審査特別委員会  
議会モニター募集  
お知らせ

平野 武志 議員  
Hirano Takeshi



## 問 医療現場における「職員全体の質の向上」の具体策は

## 答 医療技術の習得に積極的に取り組む — 町長

**町民や患者から信頼を高める病院事業の取り組みについて**

**木** 古内町国民健康保険病院経営強化プ

ランでは、新たな経営方針や数値目標が示されておりあります。同僚議員が昨年の定例会で一般質問を行いました、医師や看護師のスタッフ確保に注力することはもちろんですが、信頼される病院であり続けることが最重要課題だと考えます。町政執行方針の中では、病院事業の「職員全体の質の向上に努めます」と町長は述べております。また、木古内町国民健康保険病院経営強化プランの基本方針では、住民の理解を得る病院経営に努めるとの記載がございます。全職員の働き方改革も同時に対応を進める中、これらの記載についての具体的な内容についてお聞かせください。

**鈴木町長**

「職員全体の質の向上」の具体的な内容につきましては、日本医療機能評価機構の認定更新をはじめ、学会での実践事例の発表、認定看護師への挑戦など、医療技術の習得について積極的に取り組んでまいります。一方で接遇に関しては、庁舎内は庁舎内、病院は病院で、それぞれの教育をしております。これが将来的に一緒にやったほうがいいのではないかなど、様々なご意見があるかもしれません。組織というのは、1日で変われるものではありませんし、接遇というのも1日です身につくものでもありません。それをしっかりと受け止めた時に、教育を行うセミナーも大事ですが、まずはしっかりと対応する姿を住民の皆さんだけではなく、職員に対しても自分自身が律してしつ

かりと対応する、その姿勢が大切だと思っております。もちろん私も同じく頑張らなければと思っております。

**再質問**

医師不足、看護

師不足、病院の経営状態、これらについて町民を巻き込んで、だめだと思っております。あくまでも、内部の話であつて、病院事業者、町行政、関係者がしっかりと構築すればよくて、患者さんは自分の健康とお医者さんに託す安心を求めて病院に行くわけですよね。そこが不足していると思う部分をお聞きしたので、特に質の向上というところで質問しましたが、当然ながら医師、看護師としてのレベルを高めなければ質の向上には繋がらないというご意見もよくわかりました。ただ、私が先ほど申し上げたように、いかに患者さんの安心

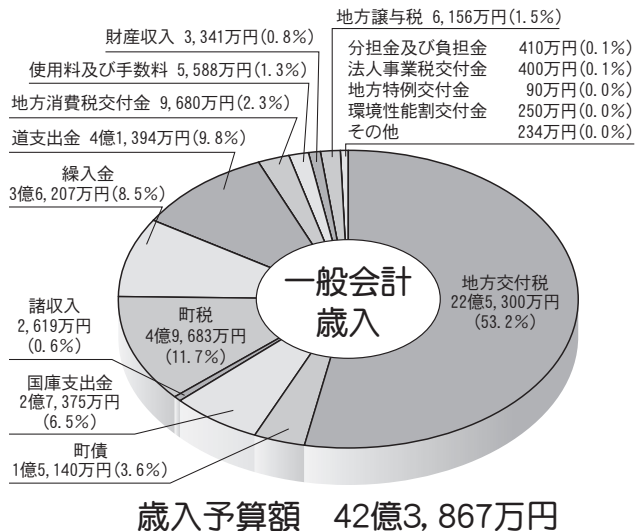
**小澤病院事業管理者**

議員のお考えと、私

とは真っ向から違うんですが、町民の自主的な立ち上がりがないと、うまくいきません。あらゆる町おこしの事例の中で、町が主導して成功した事例はありません。ほとんどないと言っている。成功した事例は、全て町の住民の自主的な立ち上がりによって成り立っております。ですから、病院事業もその中の一つです。住民の理解があつて、住民がなんとか病院をやっていた方がいい、病院を残していただきたい、という願いが我々に形となって現れることが理想的だと思います。

# 42億3,867万円

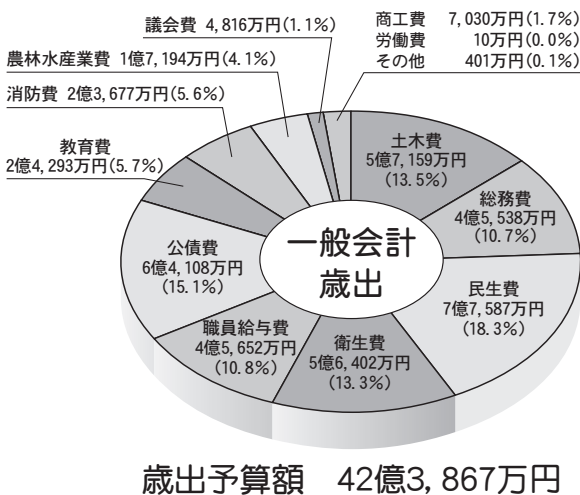
【前年度対比 4.8%増】



町民一人あたりに使われるお金

およそ 1,180,359円

※ 3月末現在の人口3,591人で算出



ここが知りたい!  
「みんなの予算」をどう使う?

## ■基金(貯金)の状況

令和6年3月末現在  
千円未満四捨五入です。

基金の種類	総額	基金の種類	総額
財政調整基金	13億8,546万円	江差線代替輸送確保基金	4億5,796万円
減債基金	3,991万円	旧江差線施設解体撤去事業準備基金	2億3,687万円
ふるさと振興事業基金	6万円	木古内町企業振興促進基金	1億313万円
地域振興基金	2万円	国保事業基金	1億5,072万円
地域福祉基金	371万円	木古内町中小企業・小規模企業経営改善等支援基金	0万円
木古内町教育基金	207万円	木古内町森林環境譲与税基金	257万円
まちづくり応援基金	9,305万円	計	24億7,553万円

※ 3月例月出納検査終了後、上記のとおり監査委員より報告を受けました。

← 次ページ 「みんなの予算」 事業の概要

# 予算の概要にふれてみる

## 2. 教育・文化

3,884万円

### (1) 学校教育 2,030万円

【継続事業】

- ①他自治体所在高等学校通学支援事業 97万円
- ②特別支援教育支援員配置事業 869万円
- ③外国語指導助手(A L T)配置事業 439万円
- ④各部活動・大会参加支援事業(小・中学校) 230万円
- ⑤I C T教育支援事業 225万円
- ⑥小・中学校入学お祝い事業 170万円

### (2) 社会教育 668万円

【継続事業】

- ①郷土資料館運営事業 601万円
- ②青少年健全育成事業 44万円
- ③リロナイふれあい学園事業 23万円

### (3) 芸術文化・スポーツ活動 1,186万円

【継続事業】

- ①芸術鑑賞事業 96万円
- ②文化・スポーツ合宿誘致推進事業 65万円
- ③少年団等大会参加支援事業 150万円
- ④パークゴルフ場運営事業 875万円

## 3. 行財政・住民参加

4,833万円

### (1) 行財政運営 4,833万円

【継続事業】

- ①地方公会計制度導入事業(財務書類等作成) 105万円
- ②議会モニター実施事業 134万円
- ③ペーパレス会議システム運用事業 145万円
- ④デジタル人材活用事業 853万円
- ⑤入札参加資格共同審査実施事業 25万円
- ⑥ふるさと納税事業 3,441万円

【新規事業】

- ⑦姉妹都市盟約35周年事業 130万円

□令和5年度繰越事業 3,627万円

- ①公共施設等エアコン設置事業 1,250万円
- ②住民基本台帳システム等改修事業 527万円
- ③施設園芸生産基盤緊急支援事業 150万円
- ④小学校エアコン設置事業 380万円
- ⑤中学校エアコン設置事業 300万円
- ⑥公民館エアコン設置事業 870万円
- ⑦郷土資料館エアコン設置事業 40万円
- ⑧スポーツセンターエアコン設置事業 40万円
- ⑨給食センターエアコン設置事業 70万円

## 1. 福祉・医療・保健

3億8,936万円

### (1) 高齢者福祉 7,136万円

【継続事業】

- ①訪問・外出支援サービス事業 744万円
- ②医療機関等送迎バス運行事業 496万円
- ③高齢者世帯等除雪サービス事業 579万円
- ④高齢者介護サービス事業負担金 4,482万円
- ⑤通信機能付見守り機器借上事業 39万円
- ⑥高齢者等福祉サービス利用券交付事業 766万円
- ⑦補聴器購入助成事業 30万円

### (2) 介護福祉 2,025万円

【継続事業】

- ①介護従事者待遇改善事業 585万円
- ②介護サービス利用者負担軽減事業 474万円
- ③小規模多機能型居宅介護施設「さくら」運営事業 927万円
- ④声かけ訪問世帯花配布事業 14万円
- ⑤介護職員研修費補助事業 25万円

### (3) 家庭・児童福祉 1,276万円

【継続事業】

- ①乳幼児等医療給付事業(18歳まで) 893万円
- ②ひとり親家庭等医療給付事業 141万円
- ③出生お祝い事業 224万円
- ④木古内町児童手当支給事業 18万円

### (4) 障がい者福祉 1,380万円

【継続事業】

- ①重度心身障がい者医療給付事業 1,380万円

### (5) 保健・疾病予防 1,457万円

【継続事業】

- ①インフルエンザ予防接種助成事業(18歳まで) 124万円
- ②インフルエンザ予防接種助成事業(高齢者等) 36万円
- ③緊急風しん抗体検査・予防接種実施事業 38万円
- ④各種がん検診等事業 1,082万円
- ⑤妊産婦安心出産支援事業 56万円
- ⑥乳幼児等健診事業 (歯科・聴覚・発達障害調査含む) 94万円
- ⑦子育て世代包括支援センター事業 27万円

### (6) 地域医療 2億5,662万円

【継続事業】

- ①国民健康保険病院事業会計負担金 2億5,406万円
- ②道南ドクターヘリ運航事業(負担金) 256万円

## 5. 生活環境・交通

7億8,703万円

### (1) 住環境 1,840万円

#### 【継続事業】

① 移住・定住新生活しあわせサポート事業 1,570万円

#### 【新規事業】

② 町営住宅耐力度調査事業 270万円

### (2) 公共交通網 1億3,322万円

#### 【継続事業】

① 道南いさりび鉄道運行補助事業 880万円

② 道南いさりび鉄道通学支援事業 277万円

#### 【事業拡充・事業内容見直し】

③ 江差木古内線バス運行事業 1億2,165万円

### (3) 道路 3億9,812万円

#### 【継続事業】

① 除排雪事業 8,992万円

② 道路台帳補正事業 200万円

③ 佐女川跨線人道橋撤去事業 7,600万円

④ 元瓜谷橋架替事業 2億1,770万円

#### 【新規事業】

⑤ 山崎1号線他区画線整備事業 200万円

⑥ 環状線道路修繕事業 300万円

⑦ 中野地区作業道整備事業 750万円

### (4) 上・下水道 1億7,447万円

#### 【継続事業】

① 簡易水道事業会計負担金 3,840万円

② 下水道事業会計負担金 1億2,537万円

③ 合併浄化槽設置助成事業 510万円

④ 簡易水道事業会計負担金 (水道料金軽減事業) 560万円

### (5) 環境衛生・環境美化 4,966万円

#### 【継続事業】

① ごみ収集業務委託事業 3,678万円

② 花いっぱい運動事業 88万円

③ 空家等対策事業(空家等除却) 900万円

④ 特定空家解体事業 300万円

### (6) 国土保全 200万円

#### 【継続事業】

① 河川浚渫推進事業 200万円

### (7) 消防・救急 342万円

#### 【継続事業】

① 防火衣整備事業 342万円

### (8) 防災 150万円

#### 【継続事業】

① 防災用品備蓄事業 150万円

### (9) 交通安全・防犯 624万円

#### 【継続事業】

① 交通安全推進委員会補助事業 97万円

② 防犯灯料金・設置・補修補助事業 507万円

③ 特殊詐欺等被害防止対策機器導入費補助事業 20万円

## 4. 産業・観光

1億6,825万円

### (1) 農業 1,992万円

#### 【継続事業】

① 多面的機能支払交付金事業 1,295万円

② 酪農ヘルパー利用事業 27万円

③ 幸連育成牧野助成事業 30万円

④ 農村地域防災減災事業(吉堀頭首工改修事業) 640万円

### (2) 林業 5,374万円

#### 【継続事業】

① 森林環境保全整備事業(間伐・植栽等) 4,560万円

② 私有林等整備事業 600万円

③ 狩猟免許等取得支援事業 34万円

④ 森林整備対策事業 180万円

### (3) 水産業 4,295万円

#### 【継続事業】

① 漁業者チャレンジ応援補助事業 1,500万円

② 新規漁業者育成事業 995万円

③ 水産基盤整備事業 1,400万円

#### 【新規事業】

④ 水産物供給基盤機能保全事業 400万円

### (4) 商工業 1,119万円

#### 【継続事業】

① 商工会運営補助事業 549万円

② 特産品認定事業 170万円

③ きこない大産業魅力フェア事業 300万円

④ 商工会活動助成事業 100万円

### (5) 地域経済 1,195万円

#### 【継続事業】

① 企業振興促進助成事業 945万円

② 地方体験交流事業 250万円

### (6) 観光 2,231万円

#### 【継続事業】

① 観光交流センター運営事業 1,533万円

② 寒中みそぎフェスティバル事業 190万円

③ きこない咸臨丸まつり事業 160万円

④ 木古内町総合パンフレット作成事業 140万円

#### 【事業拡充・事業内容見直し】

⑤ 木古内観光協会補助事業 208万円

### (7) 就労・雇用 619万円

#### 【継続事業】

① 一次産業後継者支援事業 263万円

② わくわく地方生活実現政策パッケージ事業 100万円

③ 移住・定住促進事業 256万円

# 令和6年度 予算等審査 特別委員会

## 予算等審査特別委員会 に付託された議案

- 議案第1号～第10号  
令和6年度各会計予算
- 議案第18号  
第7次木古内町振興計画の基本構想の策定について
- 議案第19号  
木古内町振興計画検証委員会設置条例制定について
- 議案第21号  
木古内町振興計画の策定に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第23号  
木古内町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に関する基  
準等を定める条例の  
一部を改正する条例制定  
について
- 議案第24号  
木古内町指定地域密着  
型サービスの事業の人員、設備及び運営に  
関する基準を定める条例  
の一部を改正する条例  
制定について
- 議案第25号  
木古内町指定地域密着  
型介護予防サービスの  
事業の人員、設備及び  
運営並びに指定地域密  
着型介護予防サービス  
に係る介護予防のため  
の効果的な支援の方法  
に関する基準を定める  
条例の一部を改正する  
条例制定について
- 議案第26号  
木古内町介護保険条例  
の一部を改正する条例  
制定について
- 議案第27号  
木古内町指定居宅介護  
支援等の事業の人員及  
び運営に関する基準を  
定める条例の一部を改  
正する条例制定につい  
て

# 町長選挙を控えた骨格予算

## 病院事業は経営強化プランに沿った経営の安定化と 医師確保に向けた取り組みの強化を望む



予算等審査特別委員会  
委員長 相澤 巧

### 「審査所見」

令和6年度各会計予  
算10件並びに予算関連  
議案11件について、3  
月5日から11日の日程  
で審査を行った。  
一般会計予算の総額

は、歳入歳出それぞれ  
前年度より4.8%増の42  
億3千867万円となつて  
おり、特別会計、企業  
会計を合わせた合計で  
は0.6%増の87億7千853  
万円となっている。

令和6年度当初予算  
は骨格予算のため、4  
月に行われる町長選挙  
後に政策的な予算が計  
上されることになるが、  
住民サービスの低下を  
招かない予算編成にな  
ったように見受けられ

る。  
新聞報道でもあつた  
とおり、転入者が転出  
者を上回った社会増が  
道南地域で木古内町だ  
けであつたことは、  
「みらいある条例」に  
よる移住者の受け入れ  
事業が功を奏したもの  
とも考えられ、大変喜  
ばしい結果となつた。  
これに甘んずることな  
く、時には大胆に、ま  
た慎重に事業を展開し  
ていただくことを強く

望む。  
この度の予算等審査  
特別委員会では、委員  
からの質疑に対して、  
答弁に時間を要する場  
面が見受けられた。行  
政は提案者としての責  
任を果たすべく、しつ  
かりとした対応を心か  
けていただきたい。  
令和6年度の木古内  
町予算等審査特別委員  
会の審査で以下のこと  
について意見を付す。

1. 振興計画検証委員  
会の設置に関しては、  
まちづくり委員会に検  
証業務も持たせてはと  
の意見も出されたが、  
将来のまちづくりの人  
材育成も視野にいれる  
との、町の姿勢を示す  
条例提案であつたこと  
から、今後組織される  
検証委員会に対しては、  
従来の実施計画に代わ  
る各課の事業計画や財  
政収支計画などのバラ  
ンスを見極め、しつか  
りとした検証業務を行  
うとともに、まちづ  
くりの人材確保に取り  
組んでいただきたい。  
2. 子ども・子育て支  
援事業計画の策定業務  
委託については、令和  
6年度で第2期の期間  
が満了することから、  
1年をかけて新たな計  
画を策定すること。  
この計画策定業務委託  
については、常任委員  
会の事務調査において  
進捗状況の確認を行う  
が、発注する際には、

適正な入札方法や庁内のデータを活用するなど、委託料の減額に努力いただきたい。

3. 病院事業会計では、現在3名の常勤医に対して5名分の給与を計上している。また、医師の紹介報償費として前年度の3倍増の計上であった。これは、病院が医師の確保に向けて、大胆に行動しようという意識の表れであると理解をする。病院経営が安定して維持継続していくためには、医師の確保が最重要課題であることから、あらゆるネットワークを駆使して、医師の確保に全力で取り組んでいただきたい。また、今後経営の安定化が困難になってくることから、想定されることから、「木古内町国民健康保険病院経営強化プラン」に沿って、経営の安定化を図り、町民に信頼される病院であり続けることを望む。



予算等審査特別委員会

4. 有害鳥獣対策報償費においては、今年度の実績ベースでの予算計上であった。ここ数年クマの目撃情報や、シカ、タヌキ等の農業被害も増えており、住民のみならず不安であるとの認識している。そのような状況のなかで、木古内猟友会の若いハンターも育っており、最近では捕獲頭数も増えている。今後においては、住民の生命と財産を守るために、木古内猟友会への報償費の改定を含む支援策の検討を行っていた。たくとも、ジビエとしての活用の可能性についてもご検討いただきたい。

きたい。

### 質疑抜粋

#### 建設水道課

旧江差線の鉄道施設について

#### 東出委員

旧江差線は上ノ国町からの送電線ケーブルが埋設されていますが、関連する収入はどうなっていますか。また、旧江差線の線路設備は残置箇所がありますか、今後の対応を伺います。

#### 構口建設水道課長

財産収入の町有地貸付け収入に計上しています。今後は町有地貸付け収入と建物貸付収入をそれぞれ計上します。また、道道江差木古内線に含まれる土地はすでに撤去されていますが、今後道路事業との兼ね合いで撤去箇所が判明すれば撤去することとしています。

元瓜谷橋架替事業について

#### 東出委員

元瓜谷橋は車道幅員4.0mで現状と同じですが、拡幅については、どうにかならなかったのでしょうか。また、工事施工中のう回路や説明会の時期について伺います。

#### 構口建設水道課長

幅員は現状どおりで、橋の前後に退避場所を整備して対応します。また、必要に応じ住民説明会を開催します。



元瓜谷橋

#### まちづくり未来課

いさりび鉄道通学利用者助成金について

#### 東出委員

道南いさり

び鉄道通学利用者助成金を生涯学習課に所管替えした理由を伺います。また、ゼロカーボンシティに関連する予算計上がありませんか、お考えを伺います。

#### 田畑まちづくり未来課長

道南いさりび鉄道通学利用者助成金は、JRが運行していた時との運賃の差額を助成していましたが、今は通学助成の側面が強くなったため、生涯学習課に移行し、その他の通学助成金と合わせた事務としました。ゼロカーボンシティは、政策予算ですので町長選挙後に補正予算として提案します。

#### 税務課

納税貯蓄組合補助金について

#### 竹田委員

納税貯蓄組合補助金が前年より減っていますが、理由をお聞かせください。

#### 阿部税務課長

昨年は

5団体が解散したことと、取扱件数の減少が理由です。

相続登記の義務化について

#### 廣瀬委員

4月から相続登記が義務化されることですが、税務課としてどのような対応をされますか。

#### 阿部税務課長

法務局からは通知が届いていません。町民からの問い合わせには、法務局のチラシを配布するなどして相談に応じていきます。

#### 町民課

第3期子ども・子育て支援事業計画について

#### 平野委員

第3期木古内町子ども・子育て支援事業計画策定事業のメリットと対象世帯数

を教えてください。  
**畑中町民課長** 国から策定を義務付けられている計画で、現状を把握し支援策の検討を行います。対象世帯数は約200世帯です。

**ごみ分別辞典について**

**平野委員** ごみ分別辞典について、もう少し詳細な内容を説明願います。

**敦澤住民グループ主査**

前回は2019年に作成しており、可燃・不燃の種類、分別方法、資源ごみの種類やごみ収集カレンダー等で構成し、全戸配布します。

**生涯学習課**

**西部四町スポーツ合宿協議会について**

**平野委員** 渡島西部四町スポーツ合宿誘致協議会の実態について伺います。

**加藤生涯学習課長** 新型コロナウイルスの影響

響等により合宿誘致ができなかったこともあり、令和5年度に発展的解散に至りました。

**文化団体・サークルの減少について**

**竹田委員** 近年、文化団体やサークルが激減しています。今後どのような対応をとっているのか、見解を伺います。

**藤澤教育長** 活動内容や魅力についての情報発信に努め、活性化を図ってまいります。

**病院事業**

**透析システムについて**

**東出委員** 透析システム一式の詳細と、機器の入れ替えにあたっては、患者対応に問題ないものなのか伺います。

**西嶋経営管理グループ主査** 人工透析機器更新のため14台を導入します。全体を一元的にシステム管理できるよ

うになり、医療安全の観点からも有効です。

**佐々木総看護師長**

機器の入れ替えスケジュールにつきましては、患者様の不利益にならないよう、しっかりと対応します。

**産業経済課**

**農業委員会委員の定数について**

**東出委員** 当町の耕作面積は約900haで、農業委員は10名ですが、当町より耕作面積が多いのに委員が少ない自治体もあります。定数についての考えを伺います。

**中山農業委員会事務局**

**長** 定数は条例で定められており適正と考えられておりますが、これまで議論したことがありませんので、近隣の状況等も踏まえながら農業委員と協議します。

**ふれあいフェスティバルについて**

**平野委員** J A女性部ふれあいフェスティバルは非常に有意義な事業ですので、過去に規模や企画内容の検討を要望しましたが、現状について伺います。

**中山産業経済課長**

事業規模や内容については農協と協議済みで、現状の予算で開催することとしています。



J A女性部出品品の審査の様子

**有害鳥獣駆除について**

**東出委員** 捕獲した鳥獣はただ廃棄するのではなく、ジビエなどとしてふるさと納税の返礼品にも活用できると

思いますがいかがですか。

**中山産業経済課長**

鹿は一部を函館の加工施設に搬入していますが、鮮度等に影響を及ぼす可能性があるので、効果的な運搬方法を検討します。

**竹田委員**

熊は4月から管理鳥獣に指定されることから、ハンター保険の復活を望みます。捕獲報償費の見直しも含め検討できないでしょうか。

**中山産業経済課長**

猟友会等とも協議し、検討を進めます。

**漁業コーデイネット業務について**

**新井田委員**

漁業後継者育成コーデイネット業務は、地元漁業者との良好な関係構築が不可欠ですが、昨年状況と分析を説明願います。

**大高産業経済グループ**

**主査** 漁業研修生1名がさまざまな漁業に従

事し、資格も取得するなど、4年目に向けて問題なく進んでいます。

**保健福祉課**

**小規模多機能型居宅介護施設について**

**竹田委員**

小規模多機能型居宅介護施設さくら利用について、ケアマネージャーを変更すると利用できないとのことですが、利用できるようにはならないでしょうか。

**後藤介護福祉グループ**

**主査** 専任のケアマネージャーでなければ施設を利用できないことになっています。

**東出委員**

現在の登録者数を教えてください。また、土曜日と日曜日の利用を断られるとの声がありますが現状について伺います。

**吉田保健福祉課長**

登録者数は8名です。職員数の事情もあり土日の宿泊は厳しいですが、状況に応じ対応します。



# 総務・経済 常任委員会 レポート

第1回定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

## 事務調査項目

- 第8回 1月30日開催  
＜税務課＞  
・各種税徴収状況について  
＜総務課＞  
・自主防災組織の設立状況について  
・DX推進のためのデジタル人材活用事業について  
・火災警報器の周知状況について
- 第9回 2月21日開催  
＜保健福祉課＞  
・子育て世代包括支援センターの状況について  
・第9期木古内町老人福祉計画及び介護保険事業計画について  
＜商工観光創生室＞  
・新幹線木古内駅活用推進協議会（9町観光連携）の状況について  
・インバウンド観光の状況について  
＜まちづくり未来課＞  
・第7次木古内町振興計画基本構想について

# インバウンド観光の情報発信を評価 受入体制の強化とカード決済の充実を

## 「所管事務調査報告」

### ■総務課

#### 自主防災組織の設立 状況について

自主防災組織の設立については、町内会に委ねているが、強制力がないため、現在は3町内会のみ設置となつている。令和6年度には新たに5町内会が設立を予定しているものの、全体の3分の1にしか満たない。

町内会自体も地域の人口減少や高齢化によ

り、活動が縮小傾向にあり、自主防災組織の設立が負担となつていることは否めず、また、地域ごとに想定される災害の状況が違うなどのことから、思うよう

に進捗していないようであるとの説明を受けた。

しかし、防災は初動が一番大事であることから、町内会のみでの設立が難しいのであれば、それぞれの地域に

適する自主防災の在り方を行政が調査して提示するなどし、その手

前年同期の比較資料であり、ほぼ順当な進捗状況で有ることは概ね理解した。

コンビニ収納やQRコード収納の推進など、新たな取り組みについて収納率の向上の要因

### ■税務課

#### 各種税徴収状況について

助けをすることが必要だと考える。

町民の命を守るため、早急な設立に向けた推進を望む。

となつていることは、行政の努力が感じられる。

資料の提示内容に関し、各税目に対する対象人数や件数などの表記が有るべきとの指摘も有つたので今後は留意いただきたい。

将来的に町の税収が厳しくなることは必至である。当町の維持存続のため、滞納整理機構移管者が増えないよう、しっかりと今年度末まで徴収強化に鋭意努力いただきたい。

### ■保健福祉課

#### 子育て世代包括支援センターの状況について

妊娠期から産後の育児期にわたり、利用者の不安を解消する手助けが概ねできてきているとは理解した。

今後はさらに、利用者へ寄り添ったニーズの把握に努め、サービスの質を高めていきたい。

一方で資料の作成に關しては、対象人数や件数など、わかりやすく記載できるよう心がけていた。ほか、議員からの質問に対して明確に答弁できなかった場面も見受けられたことから、現場を熟知している職員を同席していただくなど、ご配慮いただきたい。

### ■商工観光創生室

#### インバウンド観光の状況について

インバウンド観光の情報発信については、海外のテレビ局や新聞

社関係、インフルエンサーなどのマスメディアと連携し、効率的にアピールができたことは評価する。

日本の伝統文化に興味をもっておられる外国人観光客の方々にとつて、当町の「みそぎ祭」は、相当なインパクトがあつたとの声が聞かれた。

今後は更に外国人観光客の来町が増えることも予測されるので、町としての受け入れ体制を充実させることが重要である。

現金を持ち歩かない外国人観光客向けに、カード決済ができる店舗の充実を図っていた。さらなる情報発信に努め、インバウンド観光を発展させるよう大いに期待する。

# 議会懇談会報告

1月17日（水）と20日（土）の2日間、町内8箇所、議会懇談会を開催しました。今回は「議員定数と議員報酬」について、住民のみなさまから様々なご意見を頂戴しました。議会では、このご意見を参考に、議会改革調査特別委員会のなかで、しっかりとした議論を行っていきます。

## ■港・前浜・下町・大平町内会：役場

議員は年間どのような活動をしているのかが分からない。まずは住民に、議会の活動をしっかりと示さなければならぬと思う。その辺が分からないと、議員の報酬とか定数だとかの議論に繋がっていかない。

## ■上町・南本町・新道町内会：最勝寺

定数については将来的に人口が半減することを踏まえ、町の運営

を考えるべき。

## ■札苅町内会：札苅みらい館

議会を運営するために、最低でも議員が何名必要かというのであれば、議論はできると思うが、議会として必要な人数を示してもらわないと議論にはならない。あと女性議員を増やしたいとか、門戸を広げたいとかは分かるが、そんなことよりもまずは魅力ある議会づくりだと思おう。議会議員の活動をこ

んなことしてますよということをお知らせすることは、すごく大事で、特に分かりやすい情報を提供する必要があると思います。

## ■釜谷町内会：釜谷ゆうなぎ館

人口が減っているのだから、定数が減でも仕方がないと思う。減じた分を報酬に振り分けてもいい。

## ■緑・花園・睦・中央・寿・第一朝日・第二朝日町内会：健康管理センター

議員報酬はもう少し上げていいのかなと思っている。それだけの仕事をやってもらるのであれば、今よりももっと頑張っていただけかなと思います。

## ■新栄町・曙・佐女川町内会：中央公民館

報酬を上げれば議員のなり手が増えるのか？が疑問。子育て世代は

生計を維持できるだけの報酬額ではない。

## ■鶴岡・建川・瓜谷・中野・大川町内会：鶴岡農村ふれあいセンター

若い方や女性の方に活動してもらうためにどのような改革をしていかなければならないのか。極論ですが、議員が同じ報酬じゃなくてもいいのではないかなと思う。働き方改革というか、常勤で専属でやる議員、また時々ボランティアとして出る議員。いろいろ多様性があってもいいと思う。

## ■泉沢町内会：泉沢生活改善センター

まちなかカフェなどを開催し、議員と住民との距離を近づけるような取り組みが必要。また町長も議員も住民から選ばれた人なので、報酬はもう少し上げてほしいと思う。

# 令和6年度 議会モニター 始動！

## 令和6年度議会モニター委嘱状交付式

令和6年度の議会モニターとして、5名の方を委嘱しました。議会モニターには、議会や委員会を傍聴していただき、議会改革に繋がるご意見を頂戴します。



後藤美津江氏



館政俊春氏



松臺祐吉氏



地本敏雄氏



宮平利一氏

## ◆ 新議員を紹介します ◆

令和6年4月21日に木古内町議会議員再選挙で、苅部礼司議員が当選されました。



かるべれいじ  
苅部礼司 議員 (65歳)

1年間の議会モニターとしての経験を活かし、町民の皆様のご意見を伺い町政に反映できればと考えておりますので、よろしくお願ひします。

木古内町森林・林業・林産業活性化議員連盟が実施している「町内緑化事業」を今年度も行います。議員と植栽し、適正管理が可能な町内会等がありましたら、議会事務局(☎2-3131)までご連絡ください。

木古内町森林・林業・林産業活性化議員連盟  
は町内の緑化を応援しています

## お知らせ

### NEWS & INFORMATION



昨年実施したアジサイの植栽

## 議員活動をお知らせします 研修・交通安全街頭啓発などに参加

### 3.19 議員研修会を開催



3月19日(火)、木古内町産業会館で議員研修会を開催し、議員が参加しました。研修テーマは「地方行政と情報化」で、講師の木古内町CDO補佐官の美馬義亮氏から自治体DXについて講義を受け、実りある研修となりました。

### 4.8 木古内町議会議員会 交通安全街頭啓発の実施



春の交通安全運動期間の4月8日(月)、議員全員で交通安全街頭啓発を行いました。みそぎ浜駐車場で、通行するドライバーに安全運転を呼びかけたものです。

今後も、議員活動の一環として交通安全啓発活動に取り組んでいきます。

#### 【お願い】

各種行事、会合などへの『議長』宛の案内文書につきましては、事前に公務の日程や時間等の調整が必要となりますので、議会事務局まで郵送または持参でご案内いただきますようお願いいたします。

# 我が町のサークル紹介 No.10

～ 当町で活躍しているサークル・団体の活動を発信します ～



みそぎ浜での勇壮な太鼓演奏

心に響く太鼓の音色を  
「みそぎ太鼓の会」

昭和47年に小島義三町長（故人）が私財を投じ、木古内町に新たな伝統芸能を作ろうと「みそぎ囃子」を製作。「みそぎ太鼓」はその優雅な舞に合わせ町職員有志によって始まり、夏まつりや寒中みそぎなど様々なイベントで披露され、皆さんに親しまれています。

平成15年からは「みそぎ太鼓の会」として、会員も子どもから大人まで幅広い年齢層で活動してきましたが、少子高齢化による影響から年々会員数も減少。存続さえ危ぶまれる状況のなか、昨年、佐女川神社寒中みそぎ神事が北海道の無形民族文化財に指定され、復活の機運が高まることに期待しています。

**竹田委員** 活動するうえでやりがいを感じるのは、どのようなときですか。

**松村代表** 寒中みそぎ祭りなどで演奏を披露したときに、お客さんが歓喜したり、感動してくれた表情を見ることができたときが、やりがいを感じます。

**竹田委員** 会として課題などありますか。

**松村代表** 演奏者の高齢化や後継者不足が深刻な問題です。このままでは「みそぎ太鼓の会」の存続も難しい状

況です。木古内町の伝統行事である「寒中みそぎ祭り」と合わせて、「みそぎ太鼓」も大切にしていきたいです。

**竹田委員** 最後に何か伝えたいことはありますか。

**松村代表** 太鼓は経験の有無や年齢、男女の別に関係なく誰でも気軽に始めることができます。ぜひ、一緒にやってみませんか。

※ご協力ありがとうございました。

## 編集後記

■「3月11日」は東日本大震災が発生した日。地震による津波の脅威は今も鮮明に焼き付いています。13年もの月日が流れ、あの時の脅威が希薄となりつつあるなか「もしも」に備えて、日頃から防災の意識を高めることが必要ではないでしょうか。

■ホットな話題として、人口異動報告で管内で唯一社会増が上回り、町で行ってきた様々な施策の成果が形として現れました。また、町で流れている防災無線のチャイムですが、3月のひな祭りを始め、12月にはクリスマスソングと、イベントに合わせて変わる演出も町の「おもてなし」の成果として一役担っていると思えます。

■野球界では、大谷翔平選手の下ジャズ移籍が、世界中から注目を集めました。また、相撲界では新入幕の尊富士の大相撲春場所優勝。初土俵から10場目での新入幕優勝は、110年振りの快挙のようです。今後の活躍に益々期待。

■国がポイントを付与し、普及を推進してきた「マイナンバーカード」ですが、健康保険証として「マイナ保険証」が医療機関で利用できるようになる代わりに、現行の保険証が12月で廃止。制度の認知度の低さに不安を感じざるを得ません。

議会だより編集特別委員会  
委員 竹田 努